

第5学年 体育科学習指導案

指導者

1 単元名 「鉄棒運動」(全6時間)

2 学習を進めるにあたって

めざす子どもの姿

- 基本的な上がり技や支持回転技、下り技を安定して行うとともに、その発展技を行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたりできる子ども(技能)
- 友達と協力し合ったり、安全に気をつけたりして技の練習をすることができる子ども(態度)
- 自分の課題にあった練習の場や方法を選び、自分のできる技を組み合わせることができる子ども(思考・判断)

こんな教材で こんな学習過程で

- 鉄棒を使って、いろいろな技に挑戦することができ、単独の技やその連続、複数の技の組み合わせなどに挑戦して、成功する喜びや、達成感が感じられる楽しい運動である。
- 自分のできる技、できそうな技をはっきりさせ学習全体の見通しを持たせるため「財産調べ」を2時間取り、自分の現在の力をしっかり把握できるようにする。
- 鉄棒運動の基礎基本となる動きの感覚を身につけるために、「ぶんぶんタイム」を毎時間学習の始めに設定する。
- めあて1では、今できる技を使い連続や組み合わせに取り組み、めあて2では自分のできそうな技に挑戦して鉄棒運動を楽しむ。
- 新しい技に挑戦したり習得した技で楽しんでできるように、スパイラル型の学習過程を取り入れる。

こんな支援で

- ① 評価規準の活用
運動の特性や児童の実態をふまえ、評価規準を設定し個に応じた支援を行う。
- ② 場の作り方
安全な場の作り方を提示し、めあて1では生活班で、めあて2では課題別でペアをつくり、その相手と見合いアドバイスし合って課題を解決できるようにする。
- ③ めあてのめあて
めあて1では、自ら技の習得を実感している感覚や技を使った楽しみ方などが意識できるノートにする。めあて2では、できそうな技を記入させ自分の課題を意識しながら取り組む技が記入できるノートにする。
- ④ 教師の声かけ
どんな練習をするかアドバイスする。いろいろな楽しみ方をしている子を称賛したり、紹介したりする。具体的な助言をしたり、技のポイントに気づかせる支援をしたりする。「鉄棒の極意紹介ボード」を提示し、課題解決の手がかりとなった友だちの声かけを紹介しクラスの財産にする。
- ⑤ アドバイスカードの活用
技のポイントや練習の仕方を図示したものを準備しておき、お互いに助言するポイントや練習の工夫がわかるようにする。

こんな子どもだから

- 体育の学習が大好き・どちらかと言えば好きの子どもが名。
- 鉄棒運動が大好き・どちらかと言えば好きの子どもが25名。
- 鉄棒運動の学習で楽しいと感じるのは「できたときのうれしさ」「鉄棒に上ったり下りたりするのが楽しい」「回る感じが好き」等あげている。一方、嫌だなと感じるのは「技ができない」「こわい」「技のポイントが分からない」をあげている。
- 休み時間は外で遊ぶ子どもが多いが、ボール遊びが中心で鉄棒などの遊具を使って遊ぶ子どもは少ない。
- 鉄棒の技の習得数には差があるが、回る技を苦手としている児童が多い。
- 準備や後片付けで、自分の役割を責任もって行うことや協力して行うことはできるようになってきているが、自分から積極的に行えていない子どももいる。
- 自分の課題にあっためあてを設定して取り組む子どももいるができていない子どももいる。

第5学年 体育科学習指導案（本時案）

指導者

1 本時 平成24年 月 日（ ）公開 I 本校運動場にて

2 本時の中心となる評価規準

- 互いに協力し、補助をし合いながら、練習をしようとする。(態度)
- 友達の助言やカードを使って課題を解決しようとしている。(思考判断)

3 本時学習を進めるにあたって

前時までに子どもたちは、自分のできる技とできそうな技を確かめ、鉄棒を使って友達と調子を合わせる・距離や時間を競う・技を組み合わせるなどして鉄棒運動を楽しんだり、できそうな技に挑戦したりしてきた。

そこで本時では、課題解決の工夫をする中で、友達と関わりながら鉄棒運動をさせたい。そのために、学習ノートに記入した楽しみ方や取り組む技、もう少しでできそうな技、技の極意ボードなどを見て課題を明確にもたせ、課題解決を図らせていく。めあて1で今の自分にできる技を使って、組み合わせたり、競い合ったりして楽しく運動をさせていく。その中で、技の組み合わせにも取り組ませ、次時の発表会を意識して活動させる。また、めあて2では、できそうな技に課題別のペアで取り組み、アドバイスカードを活用し、互いに補助したり助言し合ったりする。アドバイスカードが活用できない子どもや友達との関わりができていない子どもには、技のポイントや補助の仕方などを伝えていき、できる技が増える喜びや友達と関わり合う楽しさを味わわせていきたい。

4 準備 CD, マット, 鉄棒カバー, アドバイスカード, 掲示物, ストップウォッチ, 学習ノート

5 展開 (5/6時)

分	子どもの主な学習活動	教師の支援活動
0	1 学習の準備とめあての確認をする。 ○協力して、安全な場作りを行う。 ○ぶんぶんタイムをする。 ○めあての確認をする。	○安全に友達と協力して場作りができていないか確かめる。 ○友達と協力して楽しんでいる子どもを称賛し、紹介する。
めあて1 今の自分でできる技で鉄棒運動を楽しもう。		
10	2 めあて1の活動をする。 【予想される活動例】 ・技の組み合わせ(上がる, 回る, 下りる) ・シンクロ鉄棒(友達と調子を合わせる) ・こうもり振りの時間と回数	○安全に気をつけて活動するように声かけする。 ○友達と協力したり、関わり合ったりして楽しんで活動している子どもを称賛し紹介する。 ※互いに協力し、補助をし合いながら練習しようとする。(観察)
25	3 めあて2の活動をする。	
めあて2 できそうな技に挑戦して鉄棒運動を楽しもう。		
	【予想される活動例】 ・逆上がり ・グライダー ・こうもり振り下り ・前方, 後方支持回転 ・前方, 後方ひざかけ回転	○前時までの活動や友達が見つけた極意を紹介する。 ○アドバイスカードを使って、練習方法を紹介する。 ※友達の助言やカードを使って課題を解決しようとしている。(観察) ○友達と協力して課題解決に取り組んでいる子どもを称賛し紹介する。
40	4 後片付けをして、学習のまとめをする ○協力して片付けをする。 ○学習ノートに記入し、全体で振り返る。	○できるようになった技や見つけた極意、気づいた工夫点などを話し合い、次時の活動につなげる。